

## 1 事業実績報告書

### 平成29年度事業報告

#### I. 事業概要

東日本大震災から7年が経過しました。多賀城市震災復興計画では、復旧期の3年間、再生期の4年間で終了し、平成30年度からは最終段階の発展期へ移行するとされています。

さて、国では、地域共生社会の実現に向け、介護保険制度の改正等の社会保障制度の改革を打ち出しています。また、少子高齢社会の進展に伴い労働力人口の減少が深刻化する中、企業では生き残りを賭けて人材確保競争戦が繰り広げられています。本市においても、高齢化率は23.65%（平成30年3月31日現在）に達しており、まさに超高齢社会を迎えています。人手不足分野や現役世代を支える分野における高齢者の就業の促進は、まさに現代社会の要請であり、ますますその重要度を増しています。

このような中、当センターでは、平成29年度もまた、活動基盤の基本となる会員の増強を最重要項目とし、安全就業に努めると共に、就業機会の拡充と適正就業を推進し、地域に密着したセンター造りに努めてまいりました。『人生100年時代』において『生涯現役社会』を実現するため、国の補助事業である高齢者就業機会確保事業と高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を積極的に推進いたしました。厚生労働省は、平成28年秋に「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を内外に示し、このガイドラインに沿った運営を求めました。これを受け当センターでは、適正就業の観点から、発注企業等と締結している従来の請負・委任契約から派遣契約へ円滑に移行できるよう平成29年度当初から交渉を重ねました。その結果、残念ながら企業10社との契約打ち切り等により請負・委任事業では、前年度を大きく下回ってしまいました。その代わり派遣事業においては、新規締結分を含め、前年度実績の2倍以上の5,735万円を受託することができました。一時的な落ち込みを覚悟しなければ、適正就業は実現できません。今は、適正化への過渡期と考え、引き続き発注者へ十分に説明し、ご理解いただくように努めてまいります。

一方、会員数においては、前年度実績よりも16名増えて553名となり、数年来目標としてきた550名を突破しました。60歳以上の人口に占める入会率は、全国平均の1.7%（平成28年度実績）を上回る2.99%となりました。年金支給年齢の引き上げに伴う65歳未満の入会者が年々減少する中、年を重ねても在籍していきたいと思えるような在籍価値のあるセンター造りを目指しました。

また、平成28年度から多賀城市より委託されている総合事業の一部である介護予防・日常生活支援事業は、29年度には利用者・実件数21件を受託し地域社会の期待に応えることができました。

今年度の課題と成果を踏まえ、次年度に向けての事業内容と組織体制の更なる充実を図るため、以下のとおり事業報告いたします。

《事業実績》

1. 請負・委任事業

	平成29年度	平成28年度	増減	前年対比
会員数	553人	537人	16人	103.0%
受託件数	3,206件	3,329件	△123件	96.3%
就業延人数	26,519人日	35,064人日	△8,545人日	75.6%
受託金額	114,895,606円	148,534,403円	△33,638,797円	77.4%
就業率	67.6%	66.9%	0.7%	101.0%

※注：上記の就業率算定に係る就業実会員数には、請負・委任事業ばかりでなく労働者派遣事業で年間を通して就労した会員58名を含む。

(請負・委任及び派遣の実人員316名+派遣のみの実人員58名=374名)

2. 労働者派遣事業

	平成29年度	平成28年度	増減	前年対比
年度末受託件数	36件	12件	24件	300.0%
就業延人数	11,582人日	4,725人日	6,857人日	245.1%
受託金額 (含.連合会手数料)	57,350,192円	27,511,046円	29,839,146円	208.5%

II. 年度目標に対する実績結果

1. 会員事故：就業中・就業途上の傷害及び賠償事故 0件

⇒結果：傷害事故5件(うち労災1件)、賠償事故4件

2. 会員数：正会員550名(うち女性会員165名)に対し

⇒結果：正会員553名=達成率100.5%

(うち女性会員165名)=達成率100.0%

：正会員粗入会率3%以上に対し

⇒結果：2.99%=達成率99.7%

：賛助会員35団体に対し

⇒結果：30団体=達成率85.7%

3. 就業率：80%〔含む.労働者派遣事業〕に対し

⇒結果：67.6%=達成率84.5%

4. 事業実績：受託・独自事業収入金額155,111,000円に対し

⇒結果：114,895,606円=達成率74.1%

：受託・独自事業就業延人員 35,000人日に対し

⇒結果：26,519人日=達成率75.8%

：労働者派遣事業契約金額 30,000,000円に対し

⇒結果：57,350,192円=達成率191.2%

：労働者派遣事業就業延人員 4,800人日に対し

⇒結果：11,582人日=達成率241.3%

### Ⅲ. 事業実施報告【公益目的事業の内容】

#### 1. 就業開拓提供事業

- ・『量より質を追求=お客様満足度 100%を目指す』
- ・『就業形態により、受注区分を適正に明確化』

#### (1)請負・委任事業

①就業開拓員等による公共団体、民間企業、一般家庭等への訪問・面談強化(特に、新規開拓のための営業強化)

⇒結果：営業訪問件数 25,563件(前年度比：3,647件増)

内訳(1)会員獲得推進 14,578件

(2)就業機会開拓 10,543件

(3)女性就業促進 442件

：ポスター掲示箇所件数 184件

(うち地域班単位普及啓発業務委託箇所84箇所)

：PRチラシ設置箇所 105件

②「一人暮らしの高齢者」を支える家事援助事業の推進。

特に、平成28年度から多賀城市より委託されている総合事業「介護予防・日常生活支援事業」に組織的に対応できる体制を整備する。

⇒結果：地域ブロック単位の組織化を図ったが、各利用者の多様な要望に対し、迅速に対応できる組織体制を確立するまでには至っていない。理解ある個人会員頼みの状態。30年度から、より人材確保しやすくできるよう市に説明し交渉した。

<請負・委任事業：発注者別受注状況>

(件、%、円)

発注者別	受託件数				受託金額			
	29年度	28年度	増減	前年比	29年度	28年度	増減	前年比
公共	512	616	△104	83.1	35,532,304	37,243,178	△1,710,874	95.4
企業	442	489	△47	90.4	36,939,059	66,144,769	△29,205,710	55.8
一般	2,251	2,217	34	101.5	42,353,793	45,040,756	△2,686,963	94.0
独自事業	1	7	△6	14.3	70,450	105,700	△35,250	66.7
合計	3,206	3,329	△123	96.3	114,895,606	148,534,403	△33,638,797	77.4

#### (2)労働者派遣事業

①派遣事業と請負・委任事業との違いを説明し、双方にとって安心できる法令遵守の職場環境を整備する。【適正就業ガイドラインの活用】

⇒結果：ガイドラインを持参のうえ企業を訪問し、説明し理解を求めた。

作業内容及び指揮命令の有無等の就労状況により判断し、労働者派遣事業の新規獲得及び請負・委任事業からの円滑に移行できるよう努めた。一般家庭の発注者(1,454件)に対しては、30

年3月に郵送にて周知。また、全会員にH29.1.13 付けで郵送。  
その後の入会者にはその都度配布。

②派遣契約への移行に際し、経過措置として手数料率を引き下げる。

⇒結果：期間限定で通常 25%を 16%〔当センター10%、連合会 6%〕

③就業開拓員等による企業等への訪問・面談を強化する。

⇒結果：企業訪問回数を増やすと共に、丁寧かつ粘り強い交渉により、派遣事業への理解を深めることができた。平成29年度は企業39社と派遣契約し、57,350,192円の収入実績。

④就業開拓員等の訪問情報及び会員の自己PR情報に基づき相手企業が求めている具体的人材（技能、キャリア、条件合致など）をタイムリーに提供できる体制作りに努める。

⇒結果：随時、事務局内で分析調整。事務局から適任者を人選し仕事を提供するばかりでなく、必要に応じて「求人情報」を発行(年6回、No63~68)し条件に対応できる会員を募り、迅速に対応。

### (3)職業紹介事業

シルバー正会員の身分のまま、就労を希望する会員がほとんどのため、従来どおり一般労働者派遣事業推進に重点を置いて推進する。ただし、転職者の転職希望者に対しては、随時提供に努める。

⇒結果：求人・求職申込がなく、実績なし。

## 2. 普及啓発事業

市民の皆さんの視覚に訴える啓発活動を継続強化する。

### (1)入会促進のための普及啓発

①『会員一人、新規会員1名確保運動』の推進

⇒結果：求人情報等送付時に随時同封。29年度入会者61名のうち8名(13.1%)が入会経路「会員・知人」

②ワークプラザ来館者及び利用登録者、講習会等受講者への積極的勧誘

⇒結果：勧誘に努め、29年度ワークプラザ新規利用登録者119名(男55・女64)のうち13名(男8・女5)が入会。

③27年度から設置した地域班単位の地域連絡所を増設し、地域啓発拠点とする。〔会員有志の自宅扉に、入会促進及び発注促進ポスターを掲示する業務を委託。目標106箇所を設定〕

⇒結果：5/12開催の第1回地域班長会議にて趣旨・委託仕様内容を説明。  
・会員との合意を得て、地域班長が地域連絡所を選定し申請。  
〔会員宅5世帯につき1件の割合とし84箇所(前年度79)〕

④センターが受注している具体的求人内容(一例)及び入会説明会日時を掲載したチラシを業者委託により市内配布

⇒結果：入会促進を図るため、3月に20,023世帯に配布。

- ⑤シルバー会報『新年号』の市内全戸配布  
⇒結果：年末、地域班長に依頼し 23,067 部を配布。
- ⑥ホームページによる情報公開  
⇒結果：29年度から新システム(NRI 情報システム)に変更。9/5 付け「情報公開」更新。3/1 付け「受託金引き上げについて(お願い)」を掲載。
- ⑦「市政だより」に入会説明会のご案内掲載  
⇒結果：入会説明会開催の日時、場所、連絡先等を毎月掲載。
- ⑧市内全世帯への入会促進チラシ配布  
⇒結果：開拓員による『入会説明会日時掲載』チラシを市内全域配布。
- ⑨公共機関・企業・商店・掲示板等への入会促進ポスター掲示  
⇒結果：《ポスター掲示箇所数》
1. 行政機関 68 箇所(地区公民館、体育館、地区集会所、屋外掲示板等)
  2. 企業・商店 32 箇所(大代生協、ビッグ多賀城店、医療機関、美容院、コンビニ、個人商店等)
- ⑩地域貢献ボランティア活動及び会員同志の絆強化事業の実施(春＝地域班単位での活動、秋＝全体での活動)  
⇒結果：6月地域班ごとに「春の清掃奉仕活動」を実施  
参加会員数 206 名  
：10/15(日)全体での「秋の清掃奉仕活動及び芋煮会」を実施  
奉仕活動参加会員数 135 名、芋煮会参加会員数 119 名。
- ⑪賛助会員の加入促進  
⇒結果：開拓員が企業訪問時、随時交渉(ポスター等掲示協力企業、業務取引継続企業、物品購入先企業等)。  
会報新年号に『賛助会員紹介』ページを設けて市民に紹介。

◎ 平成 29 年度入会者数 61 人 (男 39 人、女 22 人)

<年齢別>

(人、%)

	男	女	合計	比率
60～64 歳	7	6	13	21.3
65～69 歳	12	10	22	36.1
70～74 歳	14	4	18	29.5
75～79 歳	6	2	8	13.1
80 歳～	0	0	0	0.0
合計	39	22	61	100.0

<入会経路>

(人、%)

	男	女	合計	比率
公共機関	12	12	24	39.3
会員・知人	5	3	8	13.1
マスコミ	0	0	0	0
センターの広報	21	6	27	44.3
その他	1	1	2	3.3
合計	39	22	61	100.0

<入会動機>

(人、%)

	男	女	合計	比率
生きがい	6	8	14	23.0
仲間作り	1	0	1	1.6
時間的余裕	3	3	6	9.9
健康維持	20	6	26	42.6
経済的理由	9	4	13	21.3
その他	0	1	1	1.6
合計	39	22	61	100.0

◎ 平成29年度退会者数 45人 (男26人、女19人)

<退会事由>

(人、%)

	男	女	合計	比率
病気のため(本人)	11	4	15	33.3
シルバー事業を通じて就職	0	0	0	0
その他で就職	1	3	4	8.9
死亡	3	0	3	6.7
転出	5	3	8	17.8
希望する仕事がない	1	1	2	4.4
就業機会提供不足	1	2	3	6.7
家庭の事情(介護等)	0	0	0	0.0
会費未納	0	0	0	0.0
加齢	3	1	4	8.9
他団体等への加入	0	0	0	0.0
センター運営に対する不満	0	1	1	2.2
未回答	1	1	2	4.4
その他	0	3	3	6.7
合計	26	19	45	100.0

## (2)就業機会開拓のための普及啓発

- ①新規発注者を開拓するばかりでなく、発注者に次年度も(次回も)発注して頂けるよう努めることが大切・・・発注者から全面的に信頼される仕事をする事。“あなたなら任せられる”と思ってもらえる人間関係の構築こそが最大の普及啓発になるのでは？

⇒結果：会員各位も事務局も努力したはず。「お客様満足度調査」では、  
「会員の仕事ぶり」＝丁寧 83%、普通 15%、雑 1%  
「仕事の出来具合」＝良い 82%、普通 15%、悪い 2%  
「職員の対応態度」＝良い 64%、普通 32%、悪い 0%  
調査結果は、30年4月からホームページで公開中。

- ②公共施設・企業・商店等へのPRチラシの配布及び常備

⇒結果：プラザ内には、当センター会報や発注を促すチラシ等を常備。  
また、公共施設や企業・商店等にチラシを常備し定期的に部数補充。

- ③会員による市内商業施設店舗前での普及啓発活動

⇒結果：3/11(日)16:00～10カ所で実施し、会員132名参加。

- ④「多賀城市民市」へ出店し、独自事業の展示販売

⇒結果：11/19(日)手工芸サークル『はまなすの会』が出店し、過去最高売上の70,450円を記録。

- ⑤多賀城市シルバーワークプラザでの手芸品の展示販売

⇒結果：ワークプラザ利用登録者のうち『はまなすの会』のみが販売。

- ⑥ボランティア活動〔市内清掃活動＝春・秋〕の実施

⇒結果：前述のとおり年2回実施。市民への感謝を表現。

- ⑦『地域班名入りの横断幕』を新規作成し、ボランティアや地域班活動の際に活用

⇒結果：19地域班に配布し、秋のボランティア清掃活動時にお披露目。

- ⑧就業現場での就業会員による“こんな仕事もお任せくださいPR”推進

⇒結果：春夏秋冬の簡易パンフレット活用。また、発注者への請求書送付時に同封。

- ⑨『会員一人一人が営業マン運動』の推進

- ⑩シルバー事業推進の社会的意義を市民の皆さんへ理解していただく取り組みを強化

⇒結果：全世帯配布した会報新年号の理事長挨拶文の中で、当センターへ発注して頂くことは、労働力の提供だけを目的とするものではなく数々の社会的意義があることを説明し理解を求めた。

## 3. 研修・講習事業

多賀城市シルバーワークプラザを有効活用し、自主事業として各種技

能講習会及び社会参加促進事業を実施する。

(1)技能職希望会員(含.ワークプラザ利用登録者)対象

技能習得による就業機会の獲得・拡大を図るための技能講習会(襖張り・障子張り、クロス張り、網戸張り、植木剪定、塗装、ハウスクリーニング、刈払い機械及びチェーンソー操作・整備、実用書道、普通救急・救命)の実施

⇒結果：概ね、計画通り 9 種目全て実施。

(2)正会員対象

当センター会員として、必ず身につけておかねばならない知識等の情報提供(安全就業、交通安全、接遇マナー、シルバー理念認識等)

⇒結果：「安全就業関係」については、7/31 発行の会報第 81 号、10/31 発行の会報第 82 号で呼びかけ

：「接遇・マナー研修会」については、未実施。

：「シルバー理念認識」＝地域班会議等で事務局職員が説明

また、新入会員対象に「認知症サポーター(年 4 回開催)」「ハウスクリーニング(年 5 回開催)」講習会の受講義務付け

(3)正会員及びその他の市内高齢者対象

社会参加を促進するための生きがい対策教室(パソコン、手芸、健康・料理、ウッドクラフト、英会話、絵手紙、囲碁・将棋、折り紙、シニア向けスマートフォン、着物着付け、パステル画、グランドゴルフ)の開催

⇒結果：計画通り 1 2 種目全て実施。

(4)労働者派遣事業で雇用される正会員対象

派遣作業内容により必要とされる技能や職場環境を良好にするための知識を身に付ける研修会の実施

⇒結果：受注した派遣事業の作業内容は、特別な技能を要しないものがほとんどであり、当センター独自では技能付与を目的とした研修会は未実施。その他、派遣先企業で実施する研修会には積極的に参加。

・7/6、9/19、12/14 塩釜地区資源化組合にて開催。就業会員受講。

《地域高年齢者対象の多賀城市シルバーワークプラザ自主事業》

	技能講習・教室名	開催日数	延受講者数
1	襖・障子張り	8 日	4 3 人
2	網戸張り	2 日	2 1 人
3	クロス張り	2 日	2 1 人
4	植木剪定	6 日	3 7 人
5	塗装	2 日	2 0 人



6	ハウスクリーニング	5日	31人
7	刈払・チェーンソー操作、整備	1日	7人
8	毛筆筆耕(賞状書き等)	23日	269人
9	普通救急・救命	1日	6人
10	パソコン(初級)	36日	292人
11	パソコン(中級)	27日	244人
12	パソコン(応用)	9日	131人
13	ウッドクラフト	45日	476人
14	英会話(初級)	18日	305人
15	英会話(中級)	6日	96人
16	編み物等手芸	28日	500人
17	手工芸品製作	47日	514人
18	絵手紙	5日	33人
19	囲碁・将棋	48日	472人
20	折り紙	3日	29人
21	着付け	0日	0人
22	パステル画	8日	62人
23	スマートフォン操作	1日	11人
24	料理・健康(中央公民館調理室) ※1/9 講話、多賀モリ体操は除く	11日	162人
25	グランドゴルフ(中央公園)	18日	517人
合 計		360日	4,299人

※上記の回数及び延受講者数には、各技能講習・教室に係る連絡調整会議等の出席人員数は含まない。

#### 4. 調査研究事業

##### (1)正会員対象

①継続してサークル活動の多様化を図る。積極的な就業はできないが、他人との交流や社会参加を希望する高齢者の入会を促すと共に、高齢会員等の定着促進を図るため、会員の希望内容を随時調査し、自主的組織活動を促す。

⇒結果：施設内の『サークル活動情報』ラックに各サークル活動の最新情報を常設し、来館者に提供。また、会報に活動状況を掲載し、新規参加者を募集すると共に、新規サークル活動の発足を促した。29年度末現在、『家庭菜園』『ジョギング・ウォーキング』『カラオケ』『たび倶楽部』『海釣り』『囲碁・将棋』『ボウリング』の7サークルが活動中。

②特に、企業への効果的な営業活動を促進するため、就業希望会員の自己PR情報を調査し、求職交渉に役立てる。

⇒結果：7月初旬、全会員523名対象に「会員の就業希望職種アンケート調査」(契約形態別の細目、免許・特技・技能、自己PR)を実施し、161名から回答有(回答率30.78%)。

### (2)未就業会員対象

就業率の向上を図るため、面談や電話による現況調査(未就業の原因、就業可能条件の確認、就業への助言等)の実施

⇒結果：平成30年1月5日現在の未就業会員243名(派遣契約就労会員を含む。男174名・女69名)に対し、1月初旬から順次、電話で聞き取り調査(働けない主な理由、希望する仕事内容、今後の見込み等)を実施し、併せて健康状態や就職状況を確認した。未就業理由の上位は、「シルバー以外で就職中」(男21.3%、女15.9%)、「体調不良」(男17.2%、女15.9%)。

<平成29年度年齢別未就業会員>

(人、%)

	男			女			合計		
	会員数	未就業者	比率	会員数	未就業者	比率	会員数	未就業者	比率
60～64歳	18	10	5.7	17	10	14.5	35	20	8.2
65～69歳	94	49	28.2	56	25	36.3	150	74	30.5
70～74歳	127	60	34.5	46	15	21.7	173	75	30.9
75～79歳	114	37	21.3	33	15	21.7	147	52	21.4
80歳～	35	18	10.3	13	4	5.8	48	22	9.0
合計	388	174	100	165	69	100	553	243	100

### (3)発注者(企業、一般家庭)対象

発注者に対するサービス向上を図るため、お客様満足度調査(発注理由、仕事の仕上がり評価、会員及び事務局職員の応接態度、その他意見・要望等)を実施する。また、その調査結果の一部を当センターホームページに掲載し、市民の皆さんに公表する。

⇒結果：平成29年4月～12月に当センターを利用した一般家庭140件(うち29年度新規利用10件)及び企業15件(うち29年度新規利用5件)を無作為に抽出し、郵送によるアンケート調査を平成30年1月中旬(希望投函期限2月19日)に実施。回答件数81件(一般家庭71件、企業10件)で回答率49%。調査結果は、ホームページにて公表。

### (4)一部の70歳未満新入会員対象

技能職種後継者発掘のため、書面による意向調査(興味の有無、経験年

数、今後の意思確認等)の実施

⇒結果：平成29年1月1日から12月31日までに入会した70歳未満の男性会員16名を対象に、5職種(襖張り、障子張り、網戸張り、クロス張り、植木剪定)に関する就業意欲・経験等を伺う調査を1月上旬(回答期限2月2日)に書面にて実施。その結果、3名から回答〔複数回答=襖1名、障子1名、網戸2名、クロス1名、植木1名〕あり。3/31現在、3名中2名は、別職種で就業中。

(5)多賀城市主導の総合事業(介護予防及び日常生活支援事業等)の熟知と積極的参画。受託から2年目の実績を基に、当センターが今後果たすべき事業内容及び課題(就業現場での問題点、従事会員の安定的確保方法等)を調査研究する。

⇒結果：認知症サポーター講習会の受講による従事資格の取得を促し、軽度生活支援事業を21件受託(就業会員実人員25名)。課題解決のため、包括支援センター・市と協議。

(6)仮称・婚活相談事業に係る調査研究の継続。近隣SCの会員に呼びかけ、具体的なイベントを開催できるよう当センターが主導する。

⇒結果：二市三町SC連絡協議会の共通事業として協力依頼するが、七ヶ浜町SCのみ参画。7/4返信用封筒を同封し、アンケート調査票を会員523名に郵送。該当する会員のみ、記名式にて返送依頼。会員26名(4.97%)から回答有。11/26(日)にホテルキャッスルプラザ多賀城にて婚活昼食会を企画したが、辞退者が出たため中止。

## 5. 相談事業

### (1)正会員対象

- ①請負・委任契約に基づく就業相談(随時)
- ②派遣元責任者による労働者派遣事業契約に基づく就労相談(随時)
- ③職業紹介事業紹介責任者による職業紹介事業契約に基づく紹介相談(随時)
- ④サークル活動やスムーズな加入促進に関する相談
- ⑤愛する息子・娘の婚活に関する相談

⇒結果：以上5項目のワークプラザ来館者及び会員からの就業等に関する相談については、職業紹介事業紹介責任者や派遣元責任者であるセンター職員が随時対応。

### (2)市内高齢者対象

- ①シルバー事業内容概要説明会の開催(毎月2回)

⇒結果：毎月第2・第4水曜日に実施し、シルバー事業の趣旨・概要等を説明し、入会及び地域貢献を促した。

- ②技能習得及び社会参加活動に関する相談(随時)
- ③就業・就労に関する相談(随時)
- ④その他、相談先窓口の検索・アドバイス

## 6. 安全就業推進事業

会員全員に『安全・適正就業規程』を厳守することを求め、安全意識の徹底、事故防止対策を強化する。

### ★所属会員全員が心に誓った平成29年度活動スローガン

#### ◎植木剪定職域班

『的確な判断は、事故を未然に防ぎます。歳を意識し、健全な心体維持に努めます。』

⇒結果：植木班は、無事故達成！

#### ◎機械刈り除草職域班

『無事故・無災害を目指し、チームワークを大切に』

⇒結果：機械刈り班は、傷害事故0件(蜂刺され3件は除く)、賠償事故4件(石飛ばし3件、タイヤ破損1件)発生

#### (1)就業時の安全一声運動の励行(常時)

⇒結果：就業前ミーティングの実施や“気をつけて”の声掛け励行推進。  
事務局では、安全部会現場巡回指導時、各種会議開催時、事務局窓口にて随時呼びかけた。

#### (2)新入会員対象に安全講習会開催(入会承認の都度)

⇒結果：理事会で入会承認後、随時開催。

#### (3)安全部会員及び役職員による就業現場の巡回パトロール(年数回)及び安全指導の徹底(随時)

⇒結果：6月～11月にわたり計11回、作業現場74箇所(植木20、機械刈り除草20、塵芥車8、伐採5、手刈り除草4、集草1、企業16)を巡回。チェックリストを基に点検し、安全に作業していることを確認すると共に、問題があれば、その場で指摘し改善を促した。

#### (4)命を守る・ケガをしないための『安全チェックシート』の完全履行(就業現場ごとに、就業会員全員が毎日行う声掛け一覧)→「うっかり忘れ」や「お互いに指摘しにくい」を解消

⇒結果：「植木剪定用」と「機械刈り除草用」は、H28.7に作成済み。

H29.7 第2回安全部会において「伐採作業用」と「塵芥車取り扱い用」を作成。

8月盆明けに職域ごとに配布し説明。即日適用。

☆その後、現場巡回時に活用状況を確認したが、完璧に履行している班もあれば、未実施の班(作業前のミーティング時にチェック

せず、後でまとめて記入)もあり。

(5)安全意識喚起のための職域班(植木剪定、機械刈り除草)所属会員に対する出発式の開催(春先及び盆明け)

⇒結果：1回目春先(植木剪定班 3/9、機械刈り班 5/11)実施済

2回目盆明け(植木剪定班 8/21、機械刈り班 8/18)実施済

(6)安全部会と職域各班長との安全作業検討合同会議の開催(植木剪定職域 5班、機械刈り除草職域 4班)

⇒結果：2/23に機械刈り職域班(4グループ)、2/16に植木剪定職域班(5グループ)を対象に開催し、安全巡回結果や事故発生状況を検証し、事故の再発防止策等について議論した。

(7)職域班による安全衛生管理計画書の策定及び職域別安全手順書等の随時改定と従事会員に対しての周知徹底

⇒結果：年度初めに、職域班長が安全対策計画書を策定し、所属会員全員で厳守することを確認。また、今年度は見直しの必要性がなかったため安全手順書は未改定。

(8)安全就業、健康管理等に関する「安全だより」の発行及び配布(会報内コーナーにて掲載)

⇒結果：会報・シルバー多賀城第81号(7/31発行)に、安全だより「平成29年度安全部会目標」を掲載。

：会報・シルバー多賀城第82号(10/31発行)に、宮城県SC連合会安全就業表彰結果(鈴木恒男会員受賞)及び当SC安全標語選考結果(香月正四会員受賞)を掲載。

(9)塵芥車両に係る安全操作講習会の開催

⇒結果：㈱モリタエコノスの協力により、塵芥車両による残材処理業務に従事する会員4名を対象に、3/12安全操作講習会を開催。

(10)運転業務従事会員及び事務局職員に対するアルコール度チェック検査の実施(毎日)

⇒結果：毎日必ず実施し、記録として保存。

(11)市の健康診断受診及び治療の徹底の奨励

⇒結果：新入会員対象の安全講習会で健康管理の重要性を説明。また、「安全・適正就業規程」の中でも健康診断受診を義務化。

(12)施設内の簡易血圧測定器利用促進

⇒結果：受付カウンター前に設置し、声掛けによる利用促進実施。

(13)事務所内壁に『事故発生状況』を掲示し、注意喚起

⇒結果：当センター会員が関わった傷害事故及び賠償事故の発生状況を知ることにより事故を身近なものとして感じ、“自分も気をつけないければ”という意識を喚起した。

(14)職域班グループ長に「事故発生状況」を配布し、その都度所属会員に伝

達説明する体制整備

⇒結果：定期グループ長打合せ会議時に、口頭で事故発生状況を説明し、班員への伝達徹底。

(15)全国安全週間(7月)に合わせ、会員各位に安全標語等を募集し、作品をワークプラザ内に展示

⇒結果：7/3 全会員宛て募集通知発送(7/21 必着)。7/28 第2回安全部会にて優秀作品を選考し、優秀賞『毎日変わる 現場の状況 気づいて改善！ 処置して安全！』(笠神東地域班所属 香月正四会員)に決定。H29.8.1～H30.7.31 までワークプラザのメイン通路に展示中。

<事故発生状況>

(件)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
1 傷害事故	5	6	5	4	5
(就業途上)	(1)	(3)	(0)	(0)	(0)
(就 業 中)	(4)	(3)	(5)	(4)	(5)
2 賠償責任事故	7	13	4	11	4
(対人)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(対物)	(7)	(13)	(4)	(11)	(4)
合 計	12	19	9	15	9

7. 指定管理者としてのワークプラザの適正な運営

「多賀城市シルバーワークプラザの管理運営に関する基本協定書」に基づき、就労や地域活動など高齢者の活動機会を創出、支援することによって、高齢者の生きがいや健康づくりなどに寄与するため、今後とも適正な運営に努める。平成29年度末に現在の指定期間が満了となるので、過去8年間の実績を踏まえ、引き続き指定管理者に選定されるよう努力する。

⇒結果：8/22 シルバーワークプラザ指定管理者評価委員会、10/19 指定管理者候補者選定委員会を経て、12/12 平成29年第4回多賀城市議会定例会において、当センターを指定管理者に指定することが承認された。第3期の指定期間は、平成30年度から平成34年度までの5年間。

8. 組織運営体制の充実と事務の効率化

公益法人としての組織を維持するため、健全で安定した財政基盤の確立はもちろん、理事会、専門部会、地域班、職域班等の活動において、役職員及び会員の積極的な協議を重ね、より一層地域社会に開かれた事業運営に

努める。本年度も、事業の拡大に全力で取り組むと共に、事務局体制の充実と事務作業の合理化を図りながら、経費節減に努め、効率化を高める。

⇒結果：理事会、専門部会、地域班、職域班等の活動において、役職員及び会員の積極的な協議を重ねながら、シルバー事業の浸透に努めると共に、事務の簡素化・効率化による予算の適正な執行に努めた。また、シルバーワークプラザ事業を通して、地域社会の高年齢者が参画しやすい組織運営に努めた。

《参考資料》

平成29年度派遣契約企業一覧

No	企業名	年間契約額	実績契約期間
1	(株)リンカイ物流		4月～
2	多賀城駅北口歯科		4月～
3	三協輸送(株)		4月～
4	王子コンテナ(株)		4月～
5	ザ・ビック多賀城鶴ヶ谷店		4月～
6	ヨークベニマル多賀城店		4月～
7	中国木材(株)東北センター		4月～
8	日立産機システム北日本【2職種】		4月～
9	(株)藤原清掃		4月～
10	日産宮城サービスセンター(株)		4月～
11	みやぎ生協協同組合大代店【3職種】		4月～
12	北越工業東北支店(株)		4月～
13	多賀城市社会福祉協議会		4月～
14	西尾レントオール(株)【2職種?】		4月～
15	塩釜地区資源化事業協同組合		4月～
16	イオンディライト(株)		4月～
17	キリン&コミュニケーションズ(株)		4月～
18	(株)インターオプチカル		4月～
19	多賀城駅北開発(株)		4月～
20	ビジネス星		4月～
21	日本ハウズイング(株)		4月～
22	(株)ワキタ		4月～
23	(株)サン・アルゲン仙台事業所		4月～
24	(株)アテナ事務機		4月～
25	フィードワンフード東北		4月～
26	鈴木 那彦		4月～
27	MIYAGI 子どもネットワーク【3箇所】		4月～
28	(株)サイコー		8月?～
29	(株)共成レンテム仙台営業所		月～
30	山田憲一内科医院		月～
31	仙塩総合病院		月～
32	TCIC JAPAN(株)仙台本社		月～
33	コープ東北サンネット事業連合		月～



